

担い手による荒廃農地を活用した
エゴマ等の高収益作物の生産・加工販売

みずなみし
〔岐阜県瑞浪市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
農福連携	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	県単独事業

1. 地域農業の状況

- 瑞浪市は、岐阜県の南東部に位置し、市域の多くが丘陵地で構成されている。市の中央部を西流する土岐川とその支流ごとに農地が展開する典型的な中山間地域であり、総耕地面積793haの内、田が8割以上を占めている。
- 本市は水稻を中心とした営農が盛んな地域ではあるが、中山間地域特有の狭小で不整形な農地が多く、担い手不足などにより荒廃農地が増加傾向にある。
- このような状況の中、市北部に位置する日吉地区においては、農事組合法人 日吉機械化営農組合が中心となって、荒廃農地を再生し、水稻、大豆、麦だけでなく、エゴマやニンニクといった高収益作物の栽培に取り組み経営の規模拡大、安定化を図っている。



荒廃農地(再生前)



荒廃農地(再生後)

2. 地区概要

取組主体	農事組合法人 日吉機械化営農組合	地区名	日吉（ひよし）地区
再生面積	0.5ha	取組年次	令和元年度～
作付作物	水稻、大豆、エゴマ、大麦 等	販路	JA、直売所、インターネット等

3. 取組内容及び効果

県単独補助事業、農地中間管理事業を活用した荒廃農地の再生、集積

- 日吉地区には、平成初期に実施したほ場整備により優良な農地が多く、地域で中山間地域等直接支払制度に取り組み、優良農地の保全を図っている。しかし、同地区においても農業者の高齢化や過疎化により、近年、中山間地域等直接支払制度に取り組めない農地の荒廃が増加傾向にあった。
- 同地区の中心経営体である日吉機械化営農組合は、**県単独補助事業(荒廃農地等利活用促進事業)**を令和元年度より活用し、**荒廃農地を継続的に解消するとともに、農地中間管理事業を活用し、耕作可能となった農地の集積**を行い、これまでに0.5haを集積、営農を行っている。
- 荒廃農地を解消して集積した農地では、水稻のほか、大豆、エゴマの作付けを実施している。同組合は、経営体育成支援事業や農業6次産業化促進支援事業を活用し、**大豆とエゴマの6次産業化の取組み**も行っている。収穫した大豆をきな粉に、エゴマはエゴマ油に加工して販売するなど農業経営の安定化、多角化も図っている。



エゴマ油



きな粉

活用した支援策	H25 経営体育成支援事業（国） H28 農業6次産業化促進支援事業（県） R元～ 荒廃農地等利活用促進事業（県） R元～ 農地中間管理事業
---------	---